

教科名	科目名（校内名称）	単位数	授業担当者名	教材
iC 探究 カリキュラム	iC 融合探究	1		「理数探究基礎 未来に向かって」（啓林館）

学習の ねらい	探究の過程を意識しながら活動を繰り返し、課題研究の基本姿勢（実社会や実生活と自己との関りから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力）を定着させる。また、普通科・理数科の混成グループで探究活動を行い、異なる視点が融合することで、主体的・協働的に取り組むことの良さを実感し、その良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
------------	--

授業担当者 からの メッセージ	iC 融合探究では、岡山一宮高校が定める「探究6段階岡山一宮 MODEL」に基づいた授業が展開されます。ここで体験する探究活動の進め方は、2年生で行われる iC 課題探究Ⅰ、iC 理数探究Ⅰにも生かされることと思います。 また、iC 融合探究では、課題解決の道筋がすぐには分からないことや計画通りに活動が進まないこと、失敗をすることがあるかもしれません。そういった経験をしたときに、普通科と理数科の生徒が混ざったグループで議論することで解決の糸口が見つかるかもしれません。主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、有意義な探究学習になるように、一宮高校の仲間たちと活動を楽しんでください。
-----------------------	--

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 基本的な 考え方	A 十分満足 できる	調査でわかったことを整理し、具体的な根拠として示すことで研究内容をレポートやポスターにまとめることができる。	調査からわかったことを考察し、気づいたことを具体的に表現することができる。	自分で課題を見つけ、積極的に探究活動を行うことができる。 探究したことを積極的に他者と共有し、学びを深めることができる。
	B おおむ ね満足 できる	調査でわかったことを踏まえて研究内容をレポートやポスターにまとめることができる。	調査からわかったことを考察し、気づいたことを表現することができる。	自分で課題を見つけ、探究活動を行うことができる。 探究したことを他者と共有し、学びを深めることができる。
	C 努力を 要する	調査でわかったことを踏まえて研究内容をレポートやポスターにまとめることができない。	調査からわかったことを考察し、気づいたこと表現することができない。	自分で課題を見つけ、探究活動を行うことができない。 探究したことを他者と共有し、学びを深めることができない。
育てたい生徒像 （資質・能力） との関連	情報分析活用力、論理的思考力	情報分析活用力、論理的思考力	決断実行力	
主な 評価方法	ワークシート、研究ポスター等	ワークシート、研究ポスター等	ワークシート、研究ポスター等	

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標
1学期	ユニット1 【エネルギーと未来の持続可能性】	知:データ分析の手法を用いてデータから情報を正しく読み取ることができる。 思:収集したデータから新たな課題や気づきを得ることができる。 主:エネルギー問題について、自ら必要な情報を得ようとしている。
	ユニット2 【AIと人間社会の未来】	知:英語論文の読み方を理解し、メモを取りながら論文を読むことができる。 思:収集したデータから新たな課題や気づきを得ることができる。 主:AIと人間社会のつながりについて、自ら必要な情報を得ようとしている。
2学期	ユニット3 【食料問題とバイオテクノロジー】	知:収集したデータを論理的につなげて、まとめることができる。 思:システム思考やデザイン思考を用いて課題を明確にすることができる。 主:世界が抱える食料問題を自分事として捉え、課題を考えようとしている。
	ユニット4 【水資源管理と気候変動】	知:ユニット 1~3 の知識を活用して、収集したデータを表やグラフ等を利用してまとめたり、倫理的につなげたりして、まとめることができる。 思:ユニット 1~3 の思考法等を活用して、新たな課題や気づきを得ることができる。 主:水資源や気候変動の現状について、自ら必要な情報を得ようとしている。
3学期	ユニット5 【健康とテクノロジー】	知:ユニット 1~3 の知識を活用して、収集したデータを表やグラフ等を利用してまとめたり、倫理的につなげたりして、まとめることができる。 思:ユニット 1~3 の思考法等を活用して、新たな課題や気づきを得ることができる。 主:テクノロジーの進歩と健康とのつながりについて、自ら必要な情報を得ようとしている。

なお、探究6段階岡山一宮 MODELと3観点の対応は次のとおりである。

備考	探究6段階岡山一宮 MODEL	学習の到達度
	01 気づき	主:自ら必要な情報を収集・整理し、課題や問題点を見つけようとしている。
	02 計画	知:行うとしている研究の内容を理解して研究計画を立てることができる。 思:研究計画の内容をわかりやすく表現することができる。 主:積極的に班員と協働して研究計画を立案しようとしている。
	03 実行	知・思:収集した情報を文章でまとめたり、グラフで表現したりするなど、適切な方法でまとめることができる。 主:知識・技能、思考・判断・表現に関わる個人での取組をグループ間で共有しようとしている。
	04 整理	思:まとめた情報と設定した課題との繋がりを論理的に整理することができる。 主:思考・判断・表現に関わる個人での取組をグループ間で共有しようとしている。
	05 考察	知・思:整理した情報から新たな気づきを得ることができる。 主:知識・技能、思考・判断・表現に関わる個人での取組をグループ間で共有しようとしている。
	06 発表	知・思:「01 気づき」から「05 考察」までの取組をわかりやすく論理的にまとめ、表現することができる。 主:知識・技能、思考・判断・表現に関わる取組を他者に分かりやすく伝えようとしている。